

「教育保育インターンシップ」の成果と課題（Ⅳ）

青砥弘幸（初等教育学科），本田真美（初等教育学科），中井智子（初等教育学科），
門松良子（初等教育学科），柏まり（初等教育学科）

The Reflections and Effects of an Internship Program in Nursery Schools, Kindergartens, and Elementary Schools (Part IV)

Hiroyuki AOTO, Mami HONDA, Tomoko NAKAI,
Ryoko KADOMATSU and Mari KASHIWA
(Department of Elementary Education)

抄 録

初等教育学科の専門教育科目である「教育保育インターンシップ」の成果と課題について、事前事後2回の調査の結果を中心に検討した。その結果、本インターンシッププログラムが、学生の教育保育職の職務についての理解やそれぞれの施設における子どもの実態についての理解などを深化させることが明らかとなった。また、インターンシップを通して得た知見が自身の進路や適性について内省するためのきっかけとなり、さらには今後の大学生活における問題意識や課題意識の獲得にもつながっていた。本調査によって、今年度実施されたインターンシッププログラムは学生に確かな学びをもたらすものであったことが明らかとなった。一方、5日間というインターンシップの短い期間の中で教育保育職のやりがいやをどのように実感させるかなどの今後の課題や改善点も明らかになった。

キーワード：教育保育インターンシップ，初年次教育，個人内の変容，成果と課題